

都市整備

歩道の根上がり対策と計画的整備について



歩道の根上がり対策と整備は

問 歩道の整備の現状と課題について。
経年による舗装面の劣化・損傷や樹木の生長による枝張りや落ち葉、雑草の繁茂で通行に支障をきたすことなどがある。また、巨木化、老木化している高木の安全性を踏まえた維持管理への対応が課題である。

答 根上がりを避けられない狭い歩道、根上がりの程度が大きい歩道、歩行者の通行量が多い路線、通学路、地域の方々の愛着が強い街路樹など優先順位を考えた整備について。
問 支障箇所において適宜修繕しており、優先順位を踏まえた整備を行っていない。

答 つるバス・つるワゴンの運行の充実に努めてきた。特に、70歳以上の高齢者や障害者、妊婦、未就学児を同伴する保護者などは、運賃が無料になる特別乗車証を交付している。身体機能の低下などで公共交通機関を利用できない方には、独自の取組として、寝たきりや常時車椅子を利用して在宅の高齢者及び障害者を対象に、移送支援サービスを提供している。このほか、一部の地域支え合い協議会の助け合い隊が買い物や通院の付き添いなどの外出支援をしている。

答 優先順位の検討には、各路線の現況調査を実施する必要がある。調査を基に損傷箇所の抽出をし、評価することで、優先順位を見極める必要がある。



山中
基充
議員



都市整備

移動困難者への積極的支援を



移動困難者への積極的支援（つるワゴン）

問 移動困難者への支援策の現状と予定は。つるバス・つるワゴンの運行の充実に努めてきた。特に、70歳以上の高齢者や障害者、妊婦、未就学児を同伴する保護者などは、運賃が無料になる特別乗車証を交付している。

答 身体機能の低下などで公共交通機関を利用できない方には、独自の取組として、寝たきりや常時車椅子を利用して在宅の高齢者及び障害者を対象に、移送支援サービスを提供している。このほか、一部の地域支え合い協議会の助け合い隊が買い物や通院の付き添いなどの外出支援をしている。

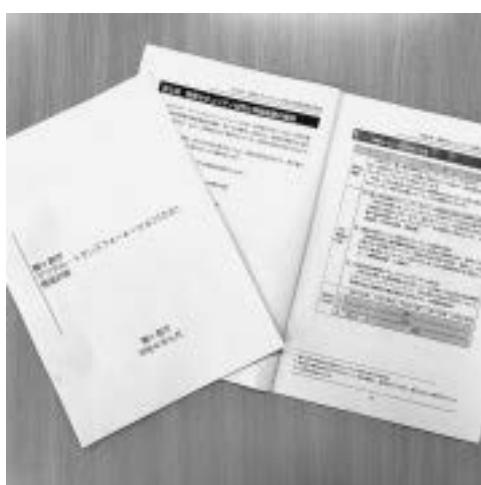


福島
恵美
議員



市政運営

鶴ヶ島市DX推進計画の現状と課題は



鶴ヶ島市DX推進計画

問 ガバメントクラウドへの移行は順調か。
答 順調であり、安定的な稼働の開始のために引き続き綿密な調整を重ねる。
問 使用するにあたっての契約の仕様は。
答 国が調達しており、仕様には、安全でコスト効率の高いシステム導入のための305項目の技術要件が設けられている。
問 個人情報保護はどうなるか。
答 国の提供事業者の公募調達で、防衛・監視・検知・保護などの多岐にわたるセキュリティを要件としている。またその要件確認として、複数の情報セキュリティに関する認証資格の取得を条件としている。これらの要件を満たしたクラウドサービスのみが、ガバメントクラウドとして提供されるため、安全性が担保されている。



太田
忠芳
議員

